



大阪府インテリア設計士協会  
 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14  
 TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553  
 URL <http://www.jp-interior.or.jp/>  
 E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

編集スタッフ

千田・筒井・野口・下垣・奥田  
 柴田・田原・森・山田

# 葉知利書

は し り が き

## 2006年

あけまして  
 おめでとう  
 ございます!



陽の差し込む第33番札所、華嚴寺境内

### 開運祈願初詣新年会 ~1月8日豊国神社~



OISの発展と会員の健康を祈願した。

### 「初心に帰る」宮後 浩

お寺といえば、お墓参りぐらいしか行くことがないほど信心には無関心だったのですが、話のなりゆきで、お寺の絵を描こうということになり、同じ描くなら「西国33箇所」を回ってみてはどうだろうと、一念発起でスケッチの旅を始めたのが一昨年、ようやく33箇所、プラス番外のお寺を含めると36箇所、それぞれ2枚ずつの絵を描いて72枚のスケッチを仕上げました。

昨年10月、学芸出版社から「西国巡礼スケッチのコツ」と命題し、僕としては12冊目の本を出版したわけですが、お遍路姿の巡礼さんに混じって、信心に無関心な僕が、お寺を回るとどうでしょう。参道をハアハア登りきって、本堂の前にたたずむとなんとなく心が洗われるようなすがすがしい気分になってくるではありませんか。普段世間の喧騒に飲み込まれてしまっているからというのもあるでしょうが、やはり日本人としてお寺は心のふるさとのようなものかもしれません、初心に帰って頑張ろうという気持ちになりました。

お正月を機会に皆さんもだまされたと思って、一度ゆっくり、お寺におまいりしてみたいかがでしょう。きっと心が洗われますよ。

### 第2回インテリア家具講座

~オーダー家具の構造と設計「居間の家具」~

スキルアップ

今見直されているオーダー家具の講座。  
 1月18日申込締切です。お急ぎ下さい!!  
 (申込FAX. 06-6262-1553 OIS事務局)

- 【場 所】 市立難波学習センター「第3研修室」(難波OCAT4階)
- 【時 間】 毎回土曜日夜18:30~21:30
- 【受講料】 10,000円【定 員】 30人
- 【開講日】 第1回: 2月 4日(土)                    第5回: 3月18日(土)
- 第2回: 2月18日(土)                第6回: 3月25日(土)
- 第3回: 2月25日(土)                第7回: 4月 1日(土)
- 第4回: 3月 4日(土)

※詳しい講義内容等については事務局にお問い合わせ下さい。

### 事遊展

~じゆうてん~ 自分の作品をアピール  
 ・作品を通じてお互いをよく知り親睦を深める



●開催日変更のお知らせ●  
 会場の都合により、次のとおり変更しました。  
 2006年3月 17日(金)13:00~17:00  
               18日(土)10:00~21:00  
               19日(日)10:00~15:00  
 【場所】 市立難波学習センター「アートスペース」  
 (難波OCAT4階)  
 【作品募集】 「事」「遊」あるいは次の3つの  
 テーマから選び、ドシドシ出品してください。  
 ★缶アート★ミニチュア椅子★年賀状

お茶とお菓いで語り合うスペースを設けます。  
 作品を見ながらワイワイガヤガヤ、楽しくやりましょう!!

1~3月のイベント

あじ処 なる 西大寺店

奈良市西大寺栄町2-12 奥田ビル 2F TEL. 0742-34-8001



【客席】カウンター席=9・椅子席=42・個室12席=1・小上がり=22席/計85席 (230㎡=70坪)  
【主な仕上げ材料】床：モルタルコテ押え 300角タイル貼 小上がりバンブープライム

壁：珪藻土(ワラスサ入り) 麻生紙  
天井：ビニールクロス 下がり天井半割竹 洗紙(別染め)  
照明：小泉産業株式会社  
ガラススクリーン：8mm透明ガラスエッチング加工

### 和美～わび～を感じてもらおう空間

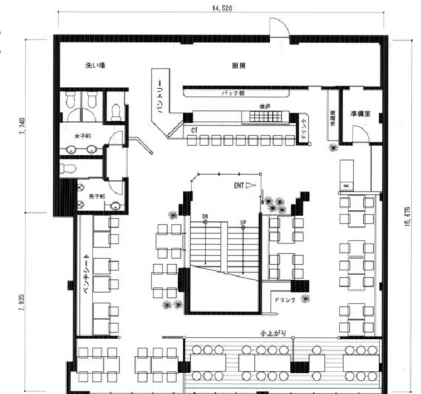
豊かな日本スタイルを再認識し、自然な素材・色彩・照明のバランスに気を使いました。  
(和紙：大阪からかみ屋/照明：小泉産業/床タイル：ABC商会)

店内中央に階段及び入口があり、店内が二分される難題を、四つの異なったデザイン空間を表現するというアイデアで企画を進めていきました・・・

階段を上がってくる顧客の店内への見通しを良くするため、階段スペースの壁を最大限撤去してテーマに基づいたデザインでガラススクリーンにエッチング加工を施し豪華さを演出したこのアイデアは、店側の管理上からも成功したように思えます。

意匠照明は普通球とハロゲン球で構成してライトコントロールでランニングコストを下げるように考慮し、また清掃のための明かりは北面からの外光が入るのでベース照明はできるだけ少なく配慮しました。

JAZZを聞きながら酒と創作料理を堪能するスペースとして喜ばれているようです。



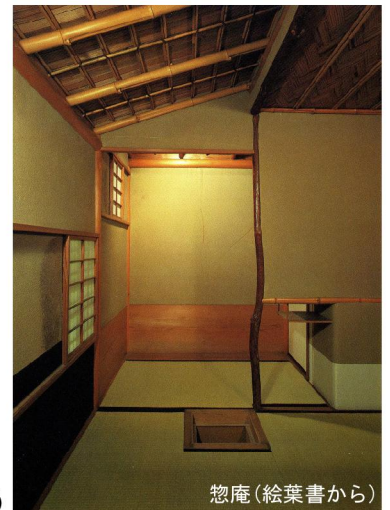
北藤士朗デザイン事務所  
大阪市住吉区苅田2丁目15-10-207  
TEL・FAX 06-6696-1581

OIS理事の北藤士朗さんは店舗デザインを多く手がけておられます。ここに紹介した「なる」は和紙を天井装飾に使って、すっきり上品に仕上がっています。他にも色々素敵な飲食店のデザインに携わっておられ、お客様の評判のいいお店が多いと伺いますので、またの機会にご紹介したいと思います。(記・田原)

## 和風講座 久保惣記念美術館 見学記

小春日和の11月23日勤労感謝の日、本年度3回目の和風講座が行われた。場所は和泉市、久保惣記念美術館。

最初に高木常任理事から全体の説明があり、その後、特別展「東アジアの美術に見る動物表現」や、重要文化財「枯木鳴鶴図(剣豪宮本武蔵筆)」をめいめいに鑑賞した。そして、一般客への公開が締め切られた午後3時、門を閉めて本館庭園にある聴泉亭、平三帖台目茶室、惣庵(非公開)、十二畳広間の残月の間を特別に公開され見学した。解説は市役所から管理を任せられ、表千家の研究もなさった西井弘氏。数名ずつ茶室に入り、空間を体感し、残月の間から見た前栽の紅葉の和みを感じながら・・・西井氏からは、丁寧な現場での体験談、高木常任理事からは表千家、残月亭や不審庵の図面、写真の資料による説明で、千利休の流れがよく理解でき、本当に興味のあるいい和風講座になったと思います。(記・千田)



惣庵(絵葉書から)

# 青年部コーナー

## 学校へ行こう！ カナダ！！

青年部 From.Canada / カナダ標準の住宅事情レポート



青年部  
伊藤優美子

カナダ・カルガリーからのレポート、第3弾です。  
今回は、ひょんなことから通うことになったインテリアスクールについてご紹介します。  
前回の自己紹介で、私が語学学校に行っていることはご存じだとは思いますが、今はそこから紹介してもらった企業（インテリアコンサルティング会社）でボランティアをしています。たまたまその会社がインテリアスクールも経営しているので、私も一緒に授業を受けさせてもらっています。

まず学校の紹介ですが、the Centre for Decorators & Designs という学校で、インテリアデコレーターの認定証のもらえるコースです。最終的に、225時間のクラスと80時間の企業研修が修了すると、卒業になります。

各学期に4～6クラスと、1日講習がいくつか開催されて、それぞれが取りたいクラスを申し込みます。通う期間もペースも全く学生の自由です。各学期に取れるだけ申し込んで、1年で卒業の人もいますし、1クラスずつ取って、5年くらい通っている人もいます。

この秋学期に私が取ったクラスは、下の4つです。

- ・ Influence of Colour (色彩学)
- ・ Decorating Style (装飾の歴史)
- ・ Perspective Drawing I (パース)
- ・ Space Planning (室内設計)

全クラスに、ミニプレゼンテーション、ファイナルプレゼンテーション、テストがあり、評価の対象になります（1週間に3つのファイナルが入ったときは、ちょっと死にそうになりました。2連続徹夜。こんなの学生時代以来です・・・）。

まず、ミニプレゼンテーションは、講師が用意してきたいくつかの項目をリサーチします（例 有名なデザイナーについて、経歴や作品のスケッチを発表します）。

そして、ファイナルプレゼンテーションは、ボードによる部屋のコーディネートです。2～3枚のボードに、家具などの写真とサンプルを貼り付けます。写真は雑誌の切り抜きや、インターネットで探して、印刷することができですが、サンプル収集がものすごく大変でした。

まず、巨大なホームセンターへ行って、タイルやキャビネットのハンドルなどを、1ピースずつ、布地屋さんに行って、ソファやカーテンに使いたい生地を10センチずつ購入します。集めたサンプルを切り張りし、見栄え良くボードに並べます。シリコンや接着剤などを使って貼り付け、ラベルを貼り・・・といった作業をして、完成です。

第3回目はいかがでしたか？ カナダ人のインテリアを目指す学生と机を並べて勉強して、とても良い影響を受けました！

私も日本のインテリアデザイナーとして、みんなに良い刺激にならなければ！ と、思う次第です。

最後に、毎回読んでいただけてどうもありがとうございます。このレポートも、書き始めて半年ほどになりました。ご感想、ご要望など、メール (blanch\_ymki@yahoo.co.jp) をいただければ、次回の参考、励みにさせていただきますと思います。

それでは！カナダ・カルガリーよりのレポート第3弾でした。

### スペースプランニング（室内設計）のファイナルプレゼンテーション



そして、採点基準は、「ボードの完成度」「デザインコンセプト」「プレゼンテーション」と大きく分けて3つ、さらにその中に項目があります。

「ボードの完成度」は、サンプルの切り口や、糊の処理がきれいに出来ているかが大きなポイントです。糸がたった1本はみ出ても減点対象です。

「デザインコンセプト」は、なぜ、このライン、カラー、テクスチャーなどを選んだのか、部屋のアクセント、隣の部屋との調和、家全体のテーマなどを盛り込んで、スピーチを作らなければなりません。デザインのポイントが欠けていると、それもまた減点の対象です。例えば、なぜこの色を選んだのか・・・などが抜けていると、色のポイントが0点になります。

「プレゼンテーション」は一言でいうと、「プロフェッショナルナリティ」です。プロのデザイナーとしてプレゼンテーションをするにあたって、必要な点が採点されます。アイコンタクト、ボディランゲージ、声の大きさ、分かりやすく説明できているか、そして「ふさわしい服装」という項目までありました。プロフェッショナルとしての意識が要求されています。

日本と比べてこちらの学校は、よりプロ意識を高める訓練をしているのではないのかな？ と思います。といっても、私の行った学校といえはたった一つだし、ずいぶん前の話なので比べるのも恐縮ですが（笑）。

学生たちも、ボードの見栄えを良くする工夫をしたり、ミニプレゼンテーションで何枚にもわたるリサーチをしてきた人もいます。それぞれが、要求されている以上の物を、クラスに持ってきます。

あと、私の感じるころでは、こちらの学生は「家具」についてめちゃくちゃ詳しい！！ と感心してしまいます。というのも、どの家具を見ても、「これは〇〇の影響を受けたラインだ」、「チッペンデール大好き！」などなど。元々は「家具が好き」というところからインテリアを選んだ人も多いためです。だから学校に通い始めたばかりの人も、有名な家具デザイナーの作品はすでに知っていて、ずいぶん驚かされました。

## 2005クリスマスパーティー&忘年会



前年より参加者こそ少なかったが、親密な会になった。小泉産業株の吉村氏が、照明計画を担当した「囲炉裏レストラン」を写真パネルで紹介、その写真のカメラマン上野氏に、カタログ撮影でヨーロッパ各地をロケするおもしろさと人生哲学を熱く語っていただいた。

入会したばかりの女性(学生)会員2人が出席してくれたことを、一同大喜びであった。  
(記・柴田)

## 積水 見学 記 納得工房



10月22日(土)、青年部主催で『積水ハウス住まいの納得工房』見学会がアンコールに開催された。

広大な敷地内いっばいに、あらゆる住宅に関する情報がある。見て、触れて、聞いて、とにかく五感をフルに活用して知識をものにして納得する、文字どおりの納得工房である。予約がいっばいの中にもかかわらず特別に時間延長で案内していただいた。しかし参加者一同、まだまだ物足りないほどの感が残り、またの開催に期待したいと・・・。(記・森)

★OIS会員で見学希望の方は一報頂ければスムーズに手配できます。一見の価値は大きいです！

# 見学記

## ●京町屋の見学と忘年会●



無名舎坪庭

KIS京都府インテリア設計士協会青年部主催の「京町屋の見学と忘年会」が、旧暦10日の土曜日午後から行われ、OIS大阪府インテリア設計士協会からは2人が参加した。

見学したのは「四条京町屋」=京都市伝統産業振興館、「無名舎」=吉田家住宅、「紫織庵」=川崎家住宅の3物件と、忘年会を行った「申くら」。

「四条京町屋」は倒壊寸前の町屋を昔のままに再生保存するもので、町家散策の拠点ともいべき建物。間口が狭く奥行きが深い独特の構造をしており、見世、玄関、台所、奥の間、蔵、坪庭、走り庭、前載など一通り整っており、ここを見るだけで町家の概略をつかむことができる。

無名舎と紫織庵は有料で公開されており、それぞれ当主の丁寧な説明が付く。紫織庵は江戸後期、寛政・享和の時代、典薬まで昇進した名医・荻野元凱がこの地で初めて医院を開業し、明治時代までその子孫の医院と門弟の教育所として使用されてきたが、大正15年、室町随一の豪商・四代目井上利助氏が元凱時代そのままに、最新のライト様式のモダンな洋間を加えて新築し、昭和40年から平成9年まで、川崎家の本宅権迎賓館として引き続き使用されてきたもの。

建物は洋館部分を日本の近代建築の父と呼ばれる武田五一が、茶室や和室部分を数寄屋の名工・上坂浅次郎が設計参与し、敷地240坪に茶室、サロン洋館、玄関棟、2階建て主屋、便所、浴室、2棟の蔵があり、京都の伝統的な「大塀造」建築の代表例である。特に主屋2階にも洋間を設け和風の中に巧みに取り入れた建築様式や凝った造りの茶室、主屋座敷の東山三十六峰をモチーフにした竹内栖鳳の欄間など近代建築としての京町屋の貴重な歴史資料となっている。現在、京都市指定有形文化財および京都府医学史研究会史跡に指定されている。



紫織庵茶室床の間

「申くら」は炭火串焼きの店として改造されており、座敷、椅子席の座敷や、茶室のにじり口をもじった入り口の小屋屋などが設けられている。参加者一向22人はお座敷でおいしい串焼きに舌鼓を打ちながら談笑した。(記・奥田)

## ◆ 郷の遺産・智頭宿石谷家住宅を見て ◆



岡山県と鳥取県境の山の中に、昔、参勤交代の大名行列が通った因幡街道に智頭宿がある。道は狭く片側は整備されているが、反対側は家の外壁が落ち、崩れた土塀などがあり、美しくするには数年はかかりそうだ。ほぼ中央に武家屋敷風の構えの石谷家住宅(国登録有形文化財)がある。

一歩土間に踏み込むと、見上げるほどもある吹抜けに400年ほどの巨木で組まれた梁組には驚く。今迄多く見学した商家よりはるかに大きくて太い。和室が40室もあり床、柱、天井材は、ケヤキ、ヒノキ、スギ、サクラ、カエデ、タモ、トチなど和材の全てがあるのではないかと思う。様式は書院造りをはじめ、江戸屋敷、数寄屋風茶室や湯殿仏間に神楽室、床の間の壁は和紙の袋張り、床柱は黒柿や屋久杉の笹空、面皮付の室、欄間は各室異なる無垢板の透し彫りなど、また、吹抜けの螺旋階段はタモ材で廊下には小さいが太鼓橋もある。これだけの木材を吟味し匠の技で造られた和室はめったに見られない。

石谷家(屋号を塩谷という)は大庄屋として栄え、明治大正と智頭地方の発展につくし、大正8年から10年かけて石谷家住宅を大改築され、平成12年に一般に公開されて、まだ新しい3000坪の敷地に和風建築とまわりの山を取り入れた日本庭園は、近代和風建築のすべてがこの石谷家集まっている。宿場は鳥取に行く途中(智頭急行で2時間)春には千代川土手180本の桜並木が迎えてくれる。

ぜひ一度は立寄って、遺産とも言える近代和風建造物と和室の勉強をしてはいかがでしょう。(記・椿)



## 賛助会員紹介



60年保証に基づく感動の家づくり  
**(株)コマツハウジング**

安心工務店認定店



代表取締役 **小松 文彦**

「積極的に新しいモノを取り入れ、様々な取り組みを実施し、よりよい家づくりを目指す弊社の要は小松社長です!!」 社員一同

合理化認定コマツホームシステム【15A-9】を取得しました。

『“住”を通して関わったお客様全ての方に幸せになって頂きたい』と思い続け、平成8年の創業より11年目を迎えました。商品開発からアフターメンテナンスまで徹底的な科学的構築を行い、“お客様に感動を”を基本コンセプトに仕事を進めています。

そして、現状に甘んじることなく常に改善・向上を図ることが、引き渡しをさせて頂いたお客様に“一生信頼され続けてゆく”ための努力だと考えております。日々勉強を怠らず住宅道を精進し、一人でも多くのお客様に“幸せ”になって頂けるよう、スタッフ一丸となって努力しております。

- ◎住宅の新築・リフォーム
- ◎家具まで選べる輸入住宅
- ◎土地分譲

～業務拡大のため、よい人材を求めています～

『前向きで向上心のあるあなたを待っています!!』

京都市右京区梅津神田町50番地 8  
TEL. 075-862-5622 FAX. 075-862-5623  
【求人担当 内村京子】～委細面談の上～

<http://www.komatsu-h.co.jp>

## 『陶芸教室』体験記

10月30日、丹波立杭「丹文窯」で20回も続いている『陶芸教室』が開催された。今回はマイカーでの参加が少なかったため、相野駅からバスで到着後、13時から作陶を開始したが、初心者には窯元のご主人が基本的な作り方の指導に当たった。思いどおり出来なくて悪戦苦闘している人もいたが、約1時間でほとんどの人が作陶を完了した。

高島屋スペースクリエイツ梯の長尾さんとそのご主人、そして愛犬のセントバーナードのデジーも参加してくれた。デジーは体重50kgの大型犬で、子供達は最初はその大きさのため近寄らなかったが、すぐに馴れ抱きついたり一緒に写真を撮ったりして大よこびだった。

最後は窯元が提供してくれた来年度の干支の犬の置物や陶器、OISで用意した景品でビンゴゲームをして盛り上がった。

今回、一般参加者が30名に対し会員はわずか8名と、協会の催しとしては不満が残る。ぜひ次回は、OIS会員の方々の多数の参加をお願いしたい。(記・梅田)



デジーと戯れる奥田局長